

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	北里大学				
取 組 名 称	成人期学生とシニア薬剤師の交差融合型教育				
取組学部等	薬学部, 有限責任中間法人日本女性薬剤師会				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A21121	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申 請 の 分 類	キャリア	体験活動		職業教育	
キ ー ワ ー ド	世代間交流, 地域連携, 実践的医療倫理教育, リカレント教育, ヒューマニズム教育				

<選定理由>

本取組は、医療責任を十全に果たし得る人間的背景基盤を備えた薬剤師の養成という視点から、交差融合型教育に取り組んだプログラムとして、高く評価できる。特に、大学教員では伝えることが難しい多彩な臨床の現状を学生に十分に伝え、共有を図ることができるよう、個々の医療事例の議論に経験豊かなシニア薬剤師の参画を得て実施する社会薬学実習は、医療のコミュニケーション能力の獲得と共に医療問題に自発的かつ積極的に取組む姿勢を形成するという観点から、取組の目的の達成に大きな意義を有している。また、シニア薬剤師においては、変貌する医療現場での自己変革のニーズに対応する体系的なリカレント教育を薬学生と共に受けることにより、現代医療に必要な学問的基盤を再構成し、管理能力の向上を図ることができることで同様の意義が認められる。大学はこの取組を日本女性薬剤師会との共同事業として位置付け、リカレント教育の到達度認定等を日本女性薬剤師会が担当することで、客観的で適切な評価が可能になっているなど、社会薬学実習、体系的リカレント教育とも適切な評価体制が整備されており、取組の実現性についても高く評価できる。

なお、シニア薬剤師に対して科目が開放されているが、シニア薬剤師の大学における身分が不明瞭なので、シニア薬剤師の役割の重要性から、その身分を明確にすることが必要である。

取組の概要【1 ページ以内】

本プログラムは、現代の厳しい医療環境の中で、法理に示される医療責任を十全に果たし得る人間的背景基盤を備えた薬剤師を養成する目的で、薬学生とシニア薬剤師（40 歳代以降の年齢層）との世代間交流を通して、**交差融合型教育**（クロスマッチ・エデュケーション・プログラム）を行うものである。

本学部では、6 年制薬学教育カリキュラムにおけるヒューマニズム教育及び医療人教育の第一次集約点として、成人期学生に対して、既に社会薬学実習を実施している。本実習は地域連携に立脚したものであり、以下の2つの流れで構成される。すなわち、1) 様々な医療上のエピソードに関する報告・講演を視聴・追体験し、考察を加え、更に議論を行いつつ、その過程における考え方の変化変遷を自ら省察するものと、2) 障がい・介助を生活レベルで実体験し、社会的弱者が抱える困難を理解し、医療従事者又は生活者として、不断に支援ができる姿勢を獲得するものである。本プログラムでは、**個々の医療事例の議論に経験豊かなシニア薬剤師の参画を得ることにより、大学教員では伝え得ない多彩な臨床の現状を成人期学生に十分に伝えて共有を図る実践的医療倫理教育を行う。**

一方、臨床の前線で活動しているシニア薬剤師は、薬学教育及び医療事情の激変期にあつて、自己の資質の向上と職能・職責の再編の必要性を痛感しており、医療現場の改革のためにも、体系的リカレント教育を切望している。本プログラムでは、こうしたシニア薬剤師の要望に応えるために、十分な内容を有するカリキュラムを作成して、シニア薬剤師が薬学生とともに学ぶ機会を提供することにより、**現代医療において必要なシニア薬剤師の学問的基盤の再構成を促す**。また、上記のように、社会薬学実習への教育的な参画を求め、**医療上の管理指導能力の向上を図る。**

本プログラムは、(法)日本女性薬剤師会（資料参照）との共同事業として提案するものであり、将来は更に多方面の大学・職能団体等との提携を計画している。

以上、薬学部学生教育とシニア薬剤師のリカレント教育をクロスマッチさせることで、学生はシニア薬剤師の経験をより現実的なものとして享受し、シニア薬剤師は医療人として更に一段の飛躍を図ることを目標とした**交差融合型教育**プログラムを提案する。